

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	男女共同参画推進事業	担当課	市民協働推進課	
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	平成 8年度～
	施策	人権の尊重	種別	任意的事務
	基本事業	男女共同参画意識の向上	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-020704-01 単独	根拠法令・条例等	守谷市男女共同参画推進条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
内閣府に男女共同参画室・審議会及び推進本部が設置されたことを受け、男女共同参画への取組みが始まった。市では男女共同参画推進条例をもとに、その理念の実現のための計画を策定し、それに基づいた事業を行っている。	男女それぞれが自立し、自らの個性と能力によって多様な選択の幅を広げ、お互いを尊重し合い、対等なパートナーとして共に積極的に社会に参画することができる「男女共同参画社会」の早期実現のため、下記の事業を行う。 ・男女共同参画に関するセミナーやフォーラムの開催による啓発を行う。 ・小中学生対象の啓発出前講座を開催する。 ・子育て中の方でも市事業に参加しやすい環境を整えるための保育ルームを開設する。 ・広報もりやに男女共同参画に関する啓発記事を掲載する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民及び市内事業者が市や市民団体が開催するセミナーやフォーラムに参加することで、性別による固定的役割分担意識の解消など、男女平等意識づくりを行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
男女がともに責任を分かち合い、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮するために、固定的な性別役割分担意識がなくなるようにする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
①平成30年度は学校側との調整がつかず、学生を対象としたデートDV講座を開催できなかった。また、絵てがみコンクールも含め、啓発事業に積極的に取り組む必要がある。 ②近年、性的マイノリティ者に関する問題が注目されている。性別だけでなく、性自認や性的指向によっても差別されてはいけないという認識を啓発していく必要がある。 ※男女共同参画推進条例も3月に改正予定。	①学校ごとのニーズを把握し、的確な啓発事業を実施する。 【スケジュール】 通年：啓発プログラムを適宜作成する。 11～12月 中学生デートDV防止講座 12～1月 男女共同参画絵てがみコンクール 3月 男女共同参画絵てがみコンクール作品展 ②LGBT関連啓発等 【スケジュール】 1月 性的マイノリティに関する啓発講座 3月 男女共同参画推進条例改正予定
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
①4月の校長会においてデートDV講座について説明を行ったことで、年度内の開催に向けて学校側に事前に調整を依頼することができた。その後具体的なスケジュールを相談し、市内4中学校で開催できることが決定した。 ②性的マイノリティに関する認識、知識を深めるため、外部講師に講演を依頼し、まずは職員向けの啓発講座を開催する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	・定期的に啓発を行っていく必要があるため、現状を維持する。 ・県においても、LGBT関連啓発講座を積極的に推進しており、市も男女共同参画条例改正に伴い、職員及び市民の意識向上に努める。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
<ul style="list-style-type: none"> ・デートDV防止に関する啓発プログラムを行うとともに、性的指向や性自認の多様性について理解を促進するための講座等を市内公立小中学校を対象に継続する。 ・幅広い市民層を対象とした研修を実施するなど、男女共同参画意識の向上を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、デートDV防止講座を市内4中学校で実施した。計609名の生徒に対して啓発を実施することができた。 ・市内の小学5年生と中学2年生を対象に「男女共同参画 絵てがみコンクール」を開催した。計767名の応募があり、若年層に対して男女共同参画の意識付けをすることができた。 ・広報もりやに「男女共同参画コラム」を2回掲載し、市民に向けて男女共同参画について考える機会を提供した。 ・職員を対象に性的マイノリティに関する研修会を開催し、51名の職員が参加した。 ・男女共同参画推進条例を改正し、性別だけでなく、性的指向、性自

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
セミナー・フォーラム・啓発の延べ参加者数（人）	181.00	891.00	660.00	660.00	660.00
セミナー・フォーラム・啓発事業の開催数（回）	4.00	3.00	5.00	5.00	6.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発事業の開催数について、平成30年度では開催できなかったデートDV防止に関する啓発講座を、市内の4中学校全学校において開催し、若年層に対して啓発をすることができた。 ・職員に対し性的マイノリティに関する研修会を実施し、性的マイノリティ者に対する理解を促した。 ※【R2.6】セミナー・フォーラム・啓発の延べ参加者数の目標値を見直した（380人→660人）				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生等の若年層に対し男女共同参画に関する早期の意識づけを図るため、引き続き、絵てがみコンクールやデートDV防止講座等の啓発活動を積極的に行う。 ・性的指向や性自認の多様性について理解を促進するため、LGBTに関する講演会を開催する。 			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	1,824	68	134	317	317
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1	0
	一般財源	1,824	68	134	316	317
正職員人工数（時間数）		1,619.00	582.00	974.00	0.00	0.00
正職員人件費		6,638	2,430	3,996	0	0
トータルコスト		8,462	2,498	4,130	317	317